

校長通信 未来へのスタート

2025. 1. 8 文責 川口 雅哉

「2025年もよろしくお祈いします」

新年あけましておめでとうございます。14日間の冬休みが終わり、昨日より3学期が始まりました。インフルエンザや風邪の流行により欠席した子どもたちもいましたが、体調を整えて元気に笑顔で登校してきてくれた子どもたちを迎え、こちらが元気をもらったような気がして、改めて身が引き締まる思いがしました。

さて、3学期は約50日と一番短い学期ですが、卒業や進級に向けて子どもたちの今後を大きく左右する大切な時期です。卒業を控えた6年生にとっては、小学校生活の最終章と中学校での生活が始まる一年でもあります。今年の干支である巳（へび）が古い皮を脱ぎ捨てて脱皮し、新しい自分へと生まれ変わるように、これまでの自分から脱皮しさらにバージョンアップさせ、新しい自分をつくりあげる一年にしてほしいと始業式で子どもたちに話しました。

そのひとつとして、まず自分から行動し、チャレンジ（挑戦）しようと呼びかけました。苦手ではなかなか取り組みなかつたこと、やりたかつたけれど勇気がなくてできなかったこと、新しくやってみたいことなど、「人に言われてする」のではなく「自分で決めてやってみる」ことを大切にしてほしいと思っています。自分で決めて挑戦し行動することは、難しいことかもしれませんが、楽しいことでもあると思います。得られるたくさんの発見や喜びもあるはずです。うまくいかなかつたり失敗したりすることがあつたとしても、そこから学ぶことがたくさんあります。まさに、「チャレンジは、宝探し！」。一人ひとりそれぞれのなかに眠っている宝物を探す如く、どの子にとつても新しい自分発見ができる一年になるといいなと思っています。

本年も、子どもたち一人ひとりを大切にしたい学校づくりに教職員一同努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお祈いいたします。

今年も獅子舞がやってきました

毎年3学期の始業式にあわせて、獅子舞の披露をしていただいています。獅子舞は厄払いとして行われるようになり、人の頭をかむことで邪気を食べるという意味があります。子どもが獅子舞にかまれると、無病息災・学力向上のご利益があるとも言われています。「かみつく」は「神が付く」から縁起がいいとされ、頭をかまれると一年幸せで平穩に過ごせるとも言われています。

今年はリモートで始業式を行ったので、各教室に獅子舞がやってきました。怖がつている子もいましたが、頭をかんでほしい子どもたちの行列が獅子舞の前にできるほど、どの教室でも大人気でした。獅子舞を演じた地域の方々は、全教室を回るため汗だくで対応してくださいましたが、子どもたちが喜んでくれて嬉しい、子どもたちが健康で幸せな一年を過ごしてほしいとおっしゃっていました。

みなさんにとって、2025年が素晴らしい一年になりますように。

